

次ページへ続く

Continued on next page...

表紙模様集成稿(一)

前号で表紙模様の述語の整理に着手した際、五十五年度以降に模様見本の収集を企画していると予告したが、今回はその第一回として表紙模様の写真を集めてみた。表紙模様は文字どおり多種多彩であり、今回集めたものはごく一部分であって書誌記述の資料とするには未だ不足も甚しいうえ、今回事に当たつたわれわれは表紙模様の専攻者ではなく、名称などにつき独自の見識や命名体系などを持つには程遠い現状である。

この企てはあくまで当面の調査のためにこの種の便覧が乏しいのを補うものに過ぎず、一々の名称にも誤りのあらんことを虞れる。大方の御叱正を賜われれば幸いである。そして、御叱正を賜わりながら今後この集成を繰り返して積み重ねるならば、いつかは多少は役に立つものが作られる契機になるのではないかと願っている。

なお写真掲載にあたり、宮内庁書陵部には格別の御配慮をいただき、掲載許可を賜つたこと、掲載写真の選別と印刷の仕様についてはすべて当部第二室の責任において決めたことを銘記したい。写真の焼付を素人が行つたため出来上りに不体裁な個所があるが、大方の御諒解を得たく思う。

凡例

一、当館所蔵本の一部および文献資料部内外の個人の蔵書に加えて、当館収集のフィルムの内紙焼写真作製の許可をあらかじめ得てあるものから今年度は宮内庁書陵部蔵本の一部を選び、表紙模様の見本として印刷に適するものを載せた。全一六八点。

二、配列はいちおう左記の順とした。各類の間に区切は設けなかったが、複合模様の一二は別個所に重複して載せた。但し同一ネガの重複はない。

一、植物文様(1-64)

果実(窠文)・草花・樹木(竹笹)・蔓草(唐草)

二、動物文様(65-78)

魚・獣・虫・鳥・竜

三、器物文様(80)

建造物・器物(宝尽し)

四、自然現象(79-81-84)

雲・波・風景

五、幾何文様(85-133)

直線・縞(刷毛目)・曲線・円・輪繫(七宝)・立涌

六、有職文様・文字文様(134~138)

蜀江・小葵・他の有職文様・文字

七、その他(材質・技法等)(139~168)

打曇(内曇)・墨流・水玉・金泥描・布目・檀紙・他

三、各図には、前表紙等の全面を載せたものと細部を原寸に近く載せたものがあるが、その区別は一々断わらない。部分トリミングの場合、底本の書籍としての風格を傷つけないように努めた。

四、各図に名称を付したが、書陵部蔵のものは『図書寮典籍解題』の記述体系に努めてそうようにし、当館蔵・個人蔵のものは一般に通行している名称にしたがった。ただし『図書寮典籍解題』の記述体系は、その伝統と優れた見識に基づくものであるが、稀に通行の用語と概念を異にするものがあるので、それについては参考までに(一)内に通行語による記述を試みた。他の所蔵者のものについても別称を(一)に入れて記した。

例えば『典籍解題』で「七宝」と称するのは一般には「宝尽し」に含まれる丁子・雲珠等の散らし文様(54)「七宝唐草」(縷子)などを指し、逆に一般に「七宝」と称される四方の輪繫ぎ文様(128)「輪繫ぎ」などは『典籍解題』では他種の輪繫ぎ(127)「菊花文輪繫ぎ」と特に区別しないようである(なお、輪繫の「七宝」は「十方」の訛である)。また一般に「正繫ぎ(菱正)・紗綾形・綸子とも」と称される雷文(稻妻文)の連続模様は『典籍解題』では一般の雷文と区別せず、逆に雷文の一廻り屈曲

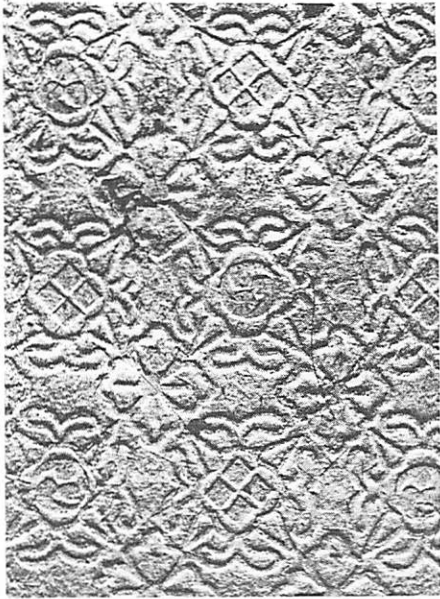
の多い連続文様を「豎菱渦巻文」(89)と称する例がある。これらは『典籍解題』としての記述体系によるところであると同時に、それに依る研究者の少なくないことも事実であるが、今回は一方で他の書誌解説類や文様図譜・辞書類に見える用語との妥協をはかり、注記を試みたものである。『典籍解題』の記述の訂正を意図したものではない。

なお、図柄の名称を考えかねたものが幾つか(84・100・131・132など)ある。大方の御教示を賜わりたく思う。また、模様のプリント方式に「捺」押「刷」「摺」「捺押」「捺刷」等の区別があるが、写真ではその判別が不可能ゆえ、「刷」「摺」「捺染」(他に「押型」「艶出し」)にまとめた。

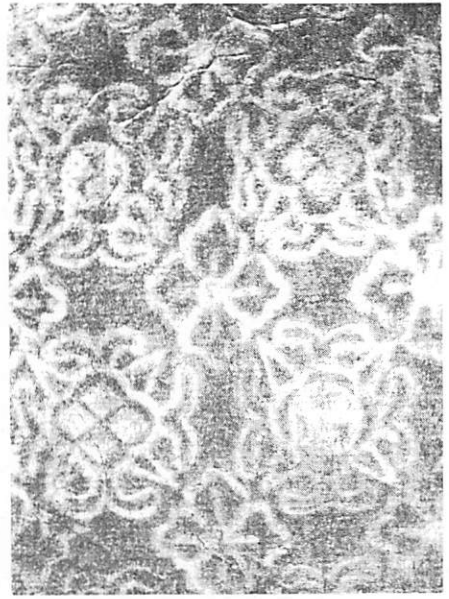
この他「押型(空押)」は型押をして表面に凸凹模様を出したものと、「艶出し」は裏側から型を当て、表面をすって光沢模様を出したものをさす。1と2に艶出しの表裏の例を掲げたので参照されたい。

五、今回掲載した写真のうち、所蔵者および書名の記述のないものは、ラベル貼付のものを含めて個人の蔵書である。官内庁書陵部蔵・当館蔵のものとともに無断の複製・転載を禁ずる。

(第二室・福田秀一・村上 学・小林健二)



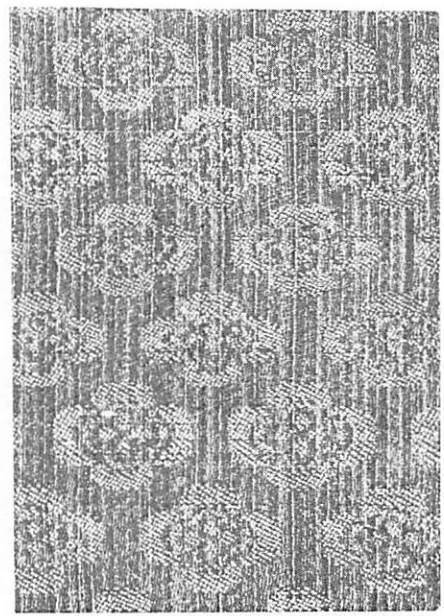
2. 窠文花菱文繋ぎ (1の裏面)



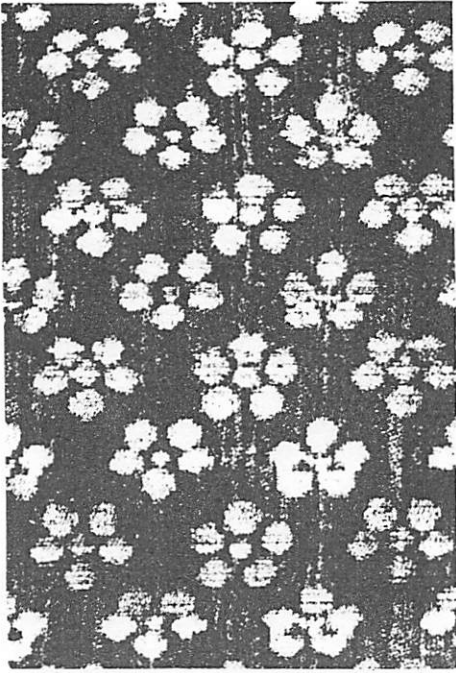
1. 窠文花菱文繋ぎ (四菱と三巴の利剣窠文に花菱繋ぎ)(艶出し)



4. 梅樹・笹・蓮葉・蜂等(四の吉祥文変型)(刷)
愚問賢注 (当館蔵タ2-12)



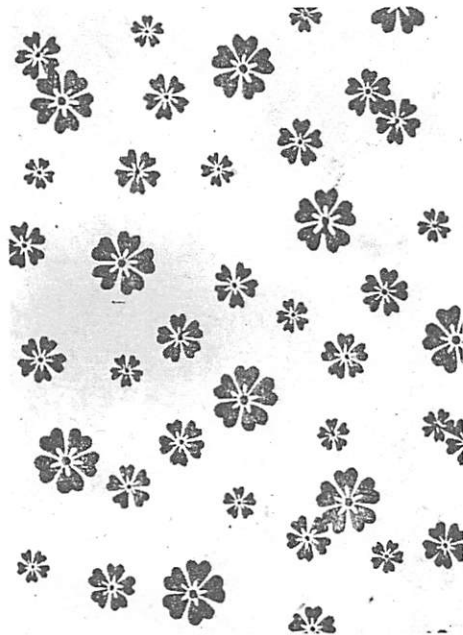
3. 窠文 (緞子)
慶運百首 (書陵部蔵501-329)



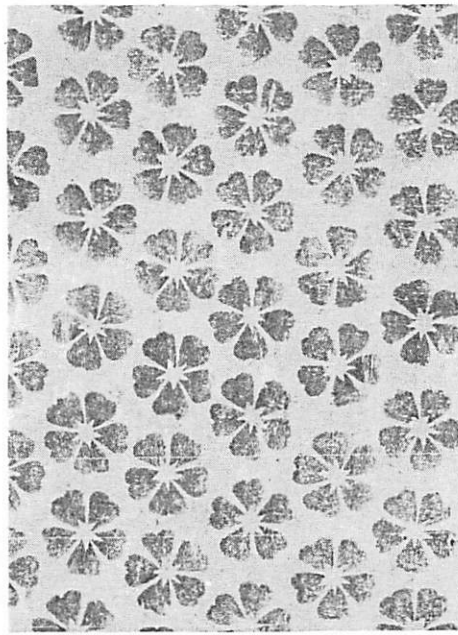
6. 梅花文



5. 布目丁子引に秋草（薄萩）の追廻し丸文



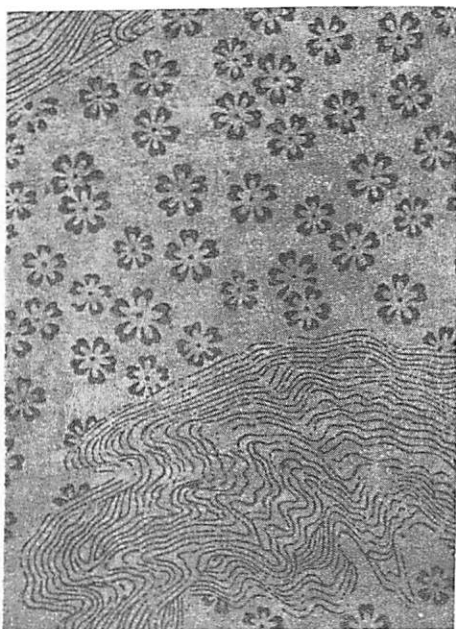
8. 桜花文散し（刷）
一宮紀伊集（書陵部蔵501—734）



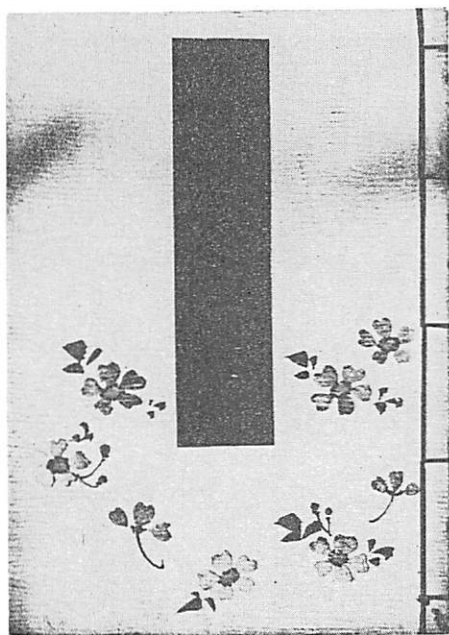
7. 桜花文（刷）
源三位頼政集（書陵部蔵501—721）



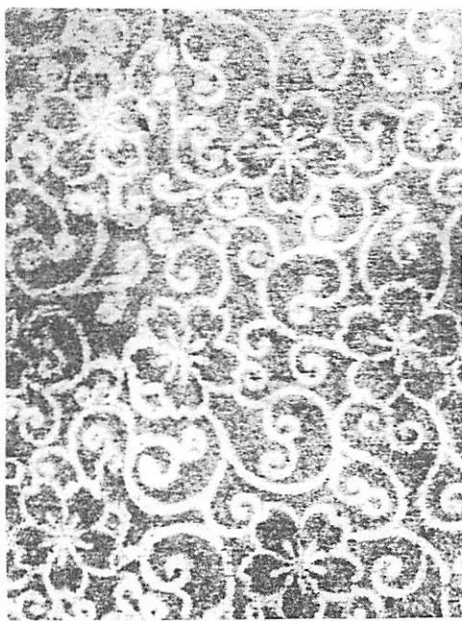
10. 桜花枝 (刷)
雅兼卿集 (書陵部蔵501-228)



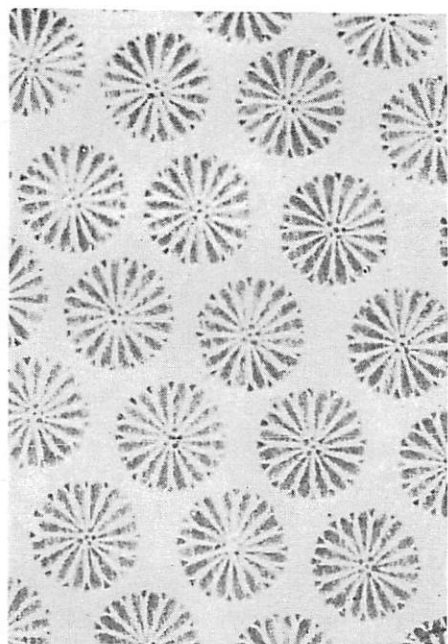
9. 線描流水に桜花散し (刷)
慈鎮和尚詠 (書陵部蔵501-776)



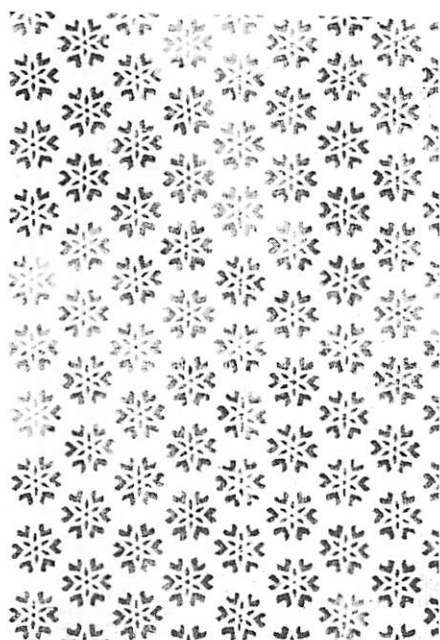
12. 檀紙に吹染の霞と桜花散し (刷)



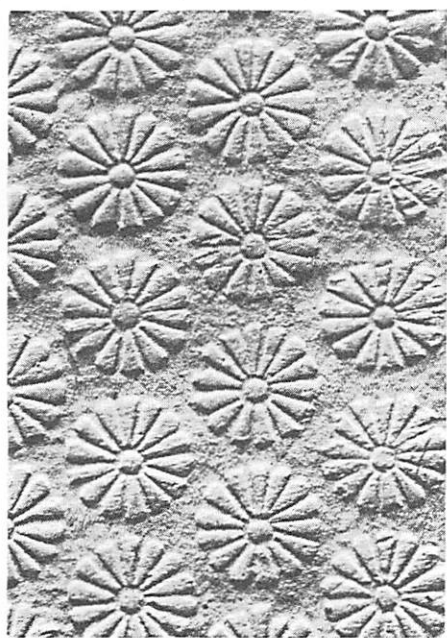
11. 桜唐草 (艶出し)



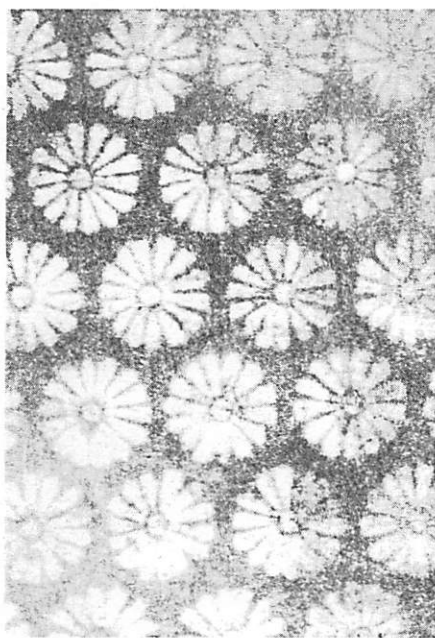
14. 菊花文（刷）
続草庵集（書陵部蔵501—249）



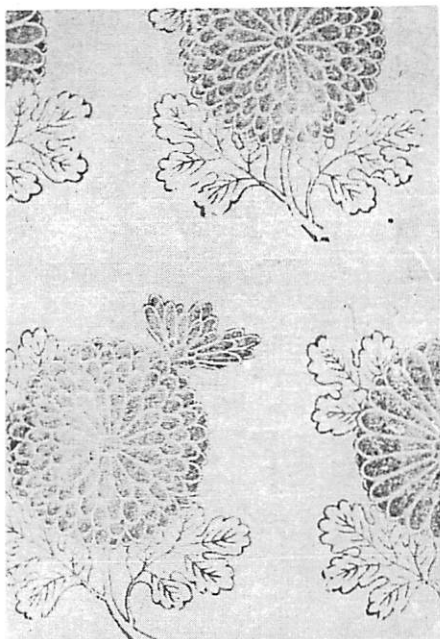
13. 未考（柑子文類似、但し柑子は通常は五弁）
五社百首和歌類聚（書陵部蔵501—762）



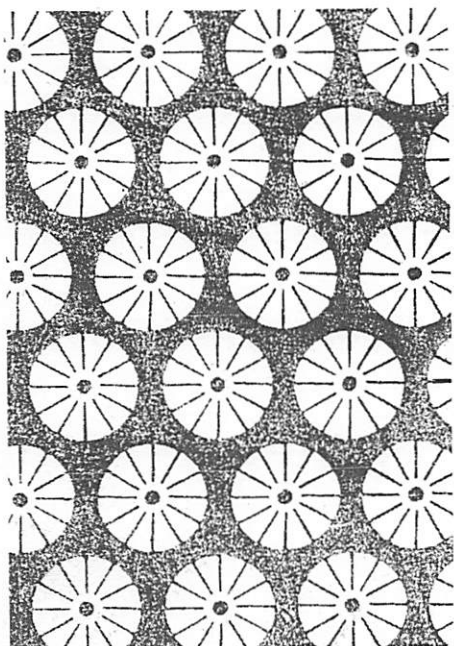
16. 菊花文（15の裏側）



15. 菊花文（艶出し）



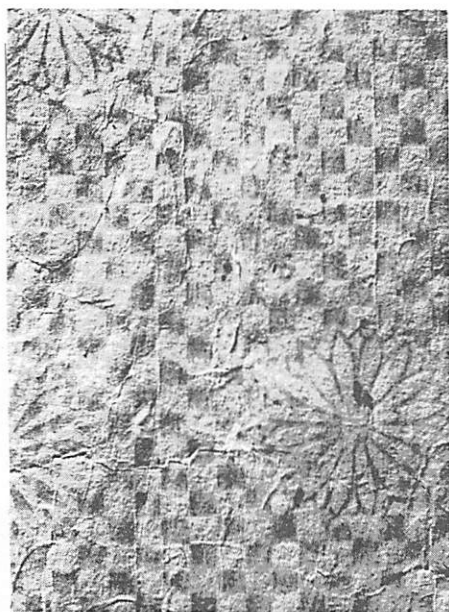
18. 菊花折枝 (刷)
文応三百首 (書陵部蔵501—894)



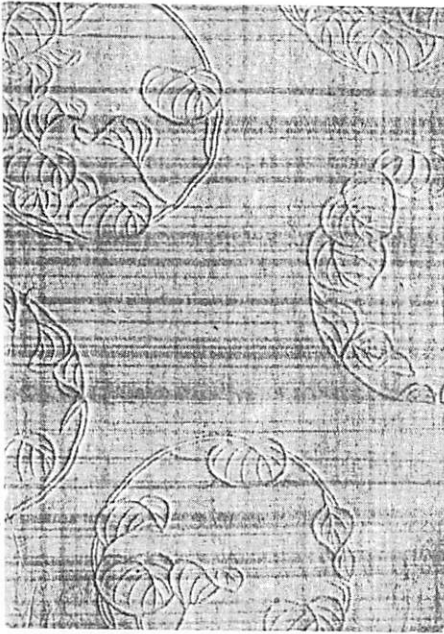
17. 菊花文 (刷)
道命法師集 (書陵部蔵501—710)



20. 雷文繫ぎ地に菊牡丹の大文 (刷)



19. 霰に菊花散し (押型の裏面)



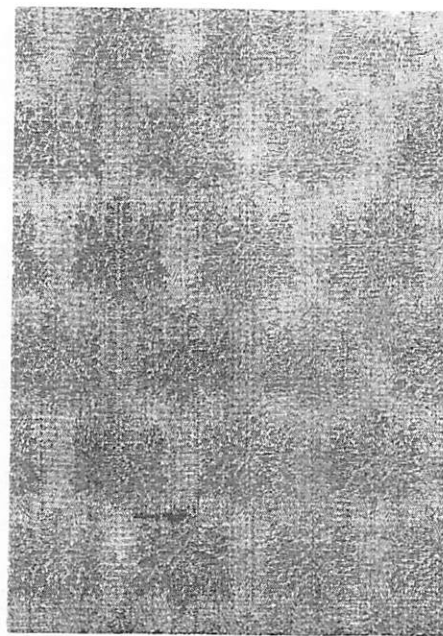
22. 丁子引格子縞に山帰來の丸（押型）



21. 布目地に二葉葵（加茂葵）散し（刷）



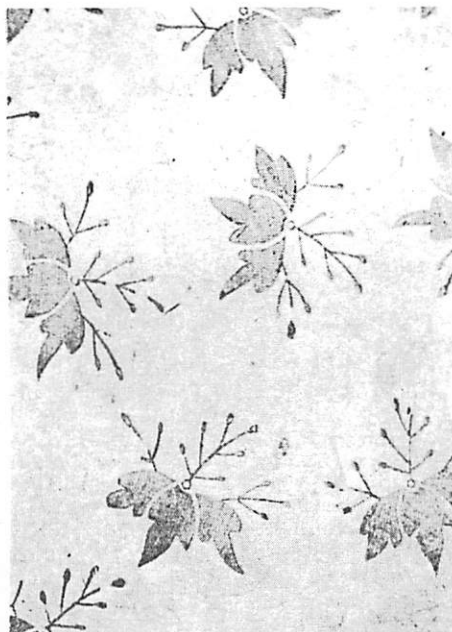
24. 桐花文散（刷）
伊勢集（書陵部蔵501—719）



23. 桐花文（綴子）
林葉集（書陵部蔵501—332）



26. 芭蕉 (刷)
柿本人麿集 (書陵部蔵501—295)



25. 桐花文散し (刷)
平親清四女集 (書陵部蔵501—248)



28. 竹 (刷)
柳葉和歌集 (書陵部蔵151—414)



27. 笹 (刷)
源順集 (書陵部蔵501—272)



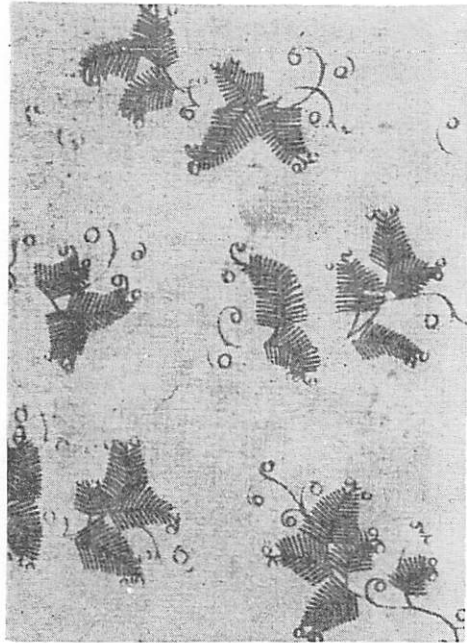
30. 丸錦 (刷)



29. 草花唐草に草花二重丸文散し (刷)
廿一代集 (当館蔵タ 2-36-6)



32. 牡丹唐草 (織文)
新平家物語 (帙) (当館蔵ナ 4-201)



31. 蔓若松 (黄色地に緑色刷)
万葉集略解 (当館蔵カ 2-4-6)



34. 鳳凰牡丹唐草 (刷)
林葉集 (書陵部藏501—732)



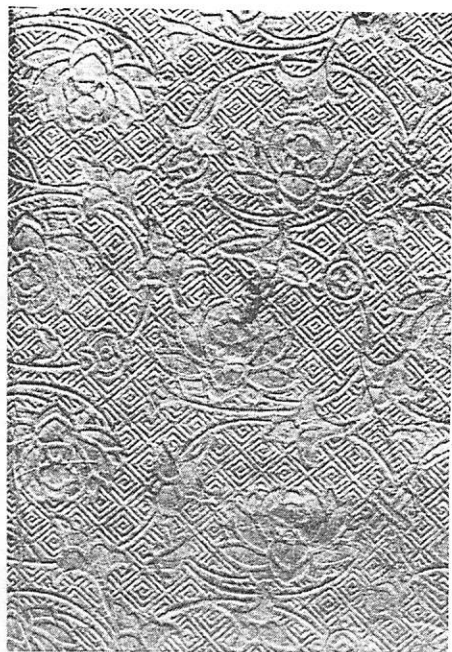
33. 牡丹唐草 (刷)
為尹卿集 (書陵部藏501—713)



36. 桜花枝唐草 (刷)
道濟集 (書陵部藏501—716)



35. 布目地牡丹薔薇七宝 (丁子雲珠) 唐草
弁乳母集 (書陵部藏501—837)



38. 雷文繫ぎに蓮華唐草（押型）



37. 桜唐草（艶出し）



40. 雷文繫ぎに蓮華唐草（押型）〔横向掲載〕



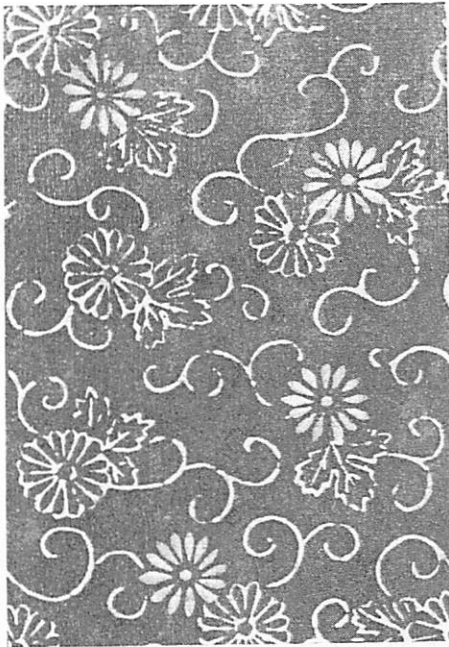
39. 雷文繫ぎに蓮華唐草（押型）



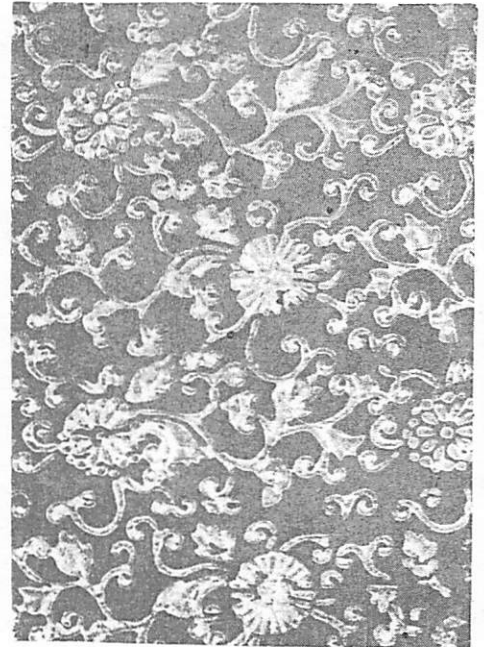
42. 菊唐草 (胡粉刷)



41. 雷文繁ぎに草花唐草 (蓮華類似)(押型)



44. 菊唐草 (胡粉刷)

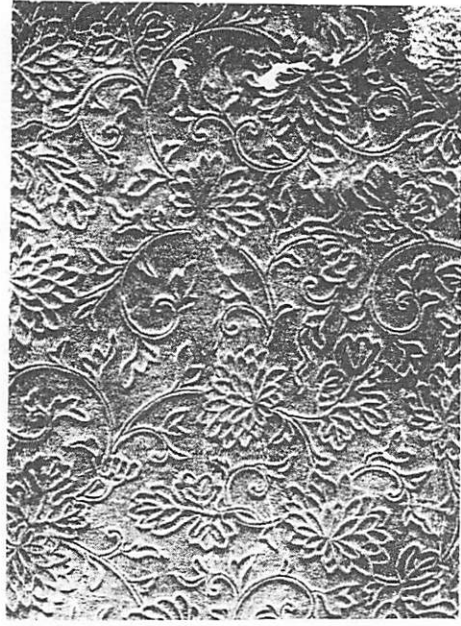


43. 菊唐草 (雲母刷)

狂歌溪の月 (当館蔵ナ 2-239)



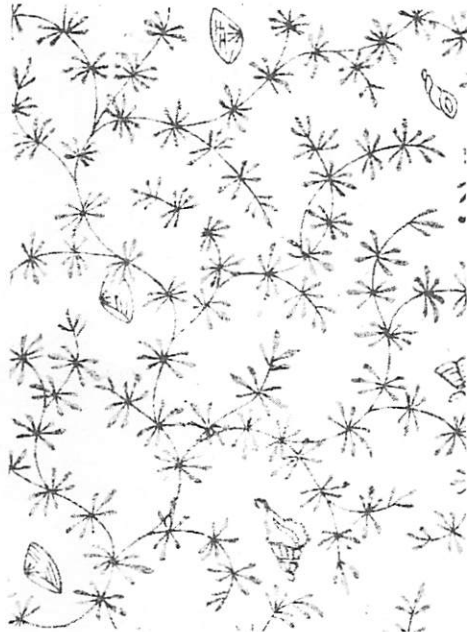
46. 菊唐草 (刷)
道堅法師集 (書陵部蔵501-709)



45. 菊唐草 (押型)



48. 桐唐草 (織文)
新古今集 (当館蔵タ 2-15-1)



47. 水藻唐草に貝の散し (刷)
閑院大将朝光集 (書陵部蔵501-704)



50. 葛唐草 (刷)
赤染衛門集 (書陵部蔵501—733)



49. 雷文繋ぎに桐唐草 (押型)



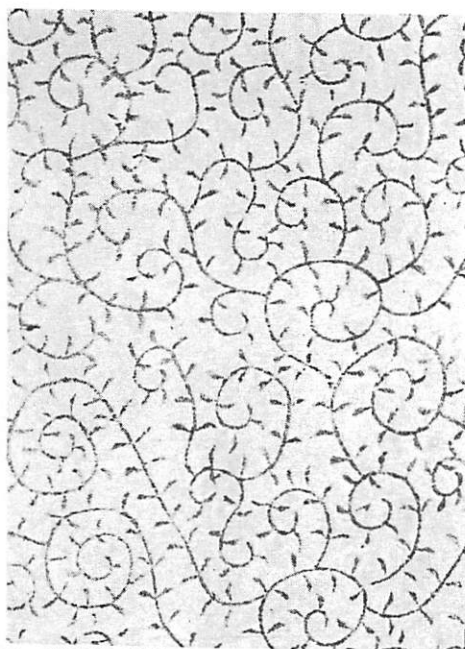
52. 信夫 (刷)
逍遙院内大臣百首 (書陵部蔵501—753)



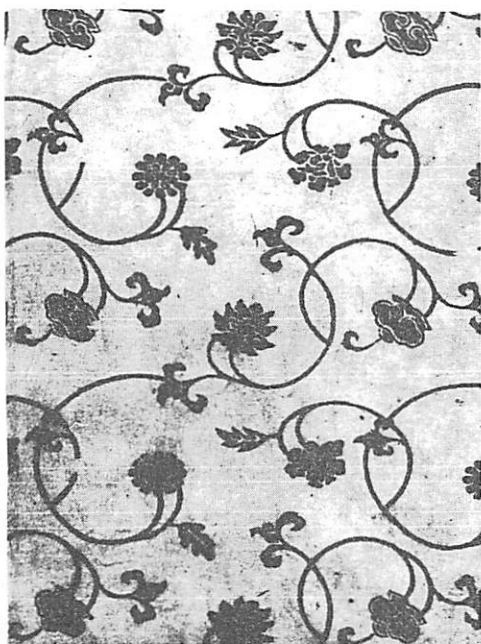
51. 水藻唐草 (信夫類似、或は翌檜とす
べきか) (刷)
帥大納言集 (書陵部蔵501—206)



54. 七宝唐草（唐花唐草に丁子雲珠）（緞子）
赤染衛門集（書陵部蔵501—52）



53. 蔓唐草（刷）
隆祐朝臣集（書陵部蔵501—711）



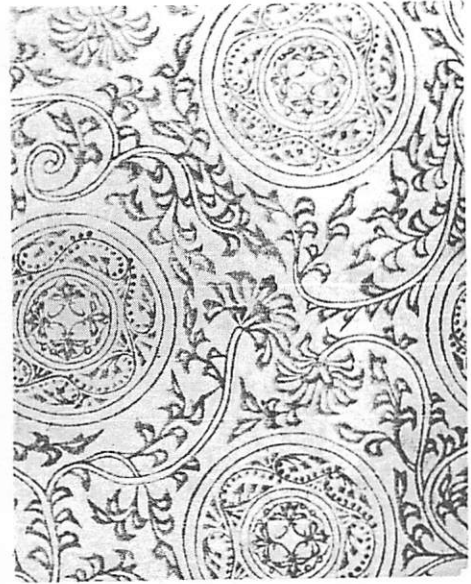
56. 菊薔薇七宝（丁子雲珠）唐草（刷）
明日香井集（書陵部蔵501—100）



55. 七宝唐草（草花唐草に丁子雲珠）（胡粉刷）
正徹物語（当館蔵タ2—29—1）



58. 草花唐草に草花二重丸文(刷)[57の模刻]
廿一代集(詞花集)(当館蔵タ2-36-6)



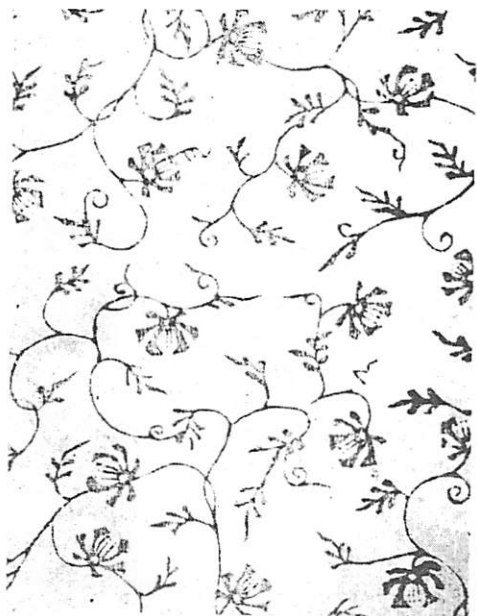
57. 草花唐草に草花二重丸文(刷)[59-61ノ
如キ表現モ可能カ]
亜槐集(書陵部蔵501-689)



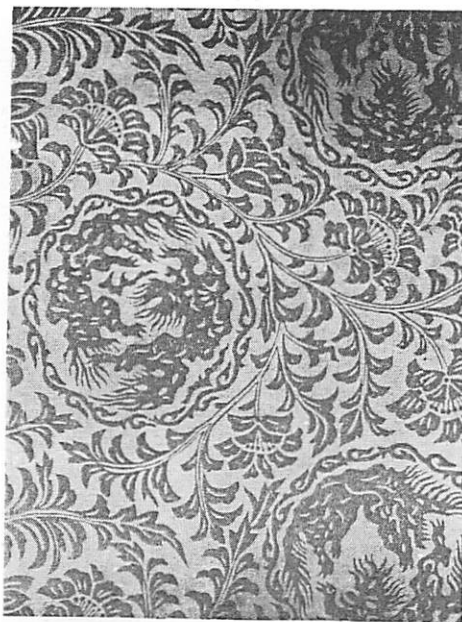
60. 丸に鳳凰及び牡丹を唐草で繋ぐ(蠟染)
伊勢大輔集(書陵部蔵501-226)



59. 丸に鳳凰及び牡丹を唐草で繋ぐ(蠟染)[57・
58ノ如キ表現モ可能カ]
禅林蔕葉集(書陵部蔵501-194)



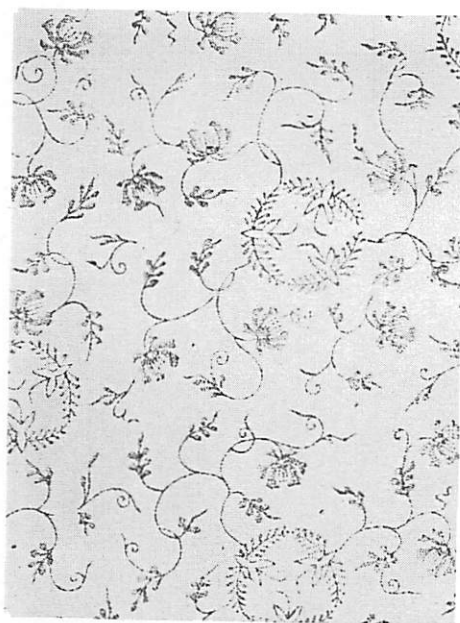
62. 草花唐草 (刷)
碧玉集 (書陵部蔵501—702)



61. 獅子の丸を草花唐草で繋ぐ (刷)



64. 草花唐草 (刷)
玄旨集 (書陵部蔵501—682)



63. 草花唐草に沢瀉藻の丸 (刷) [59—61ノ如キ表現モ可能カ]
大納言公任集 (書陵部蔵501—739)



66. 波に鯢の丸 (押型)



65. 鳳凰唐草 (刷)
為広詠草 (書陵部蔵501-827)



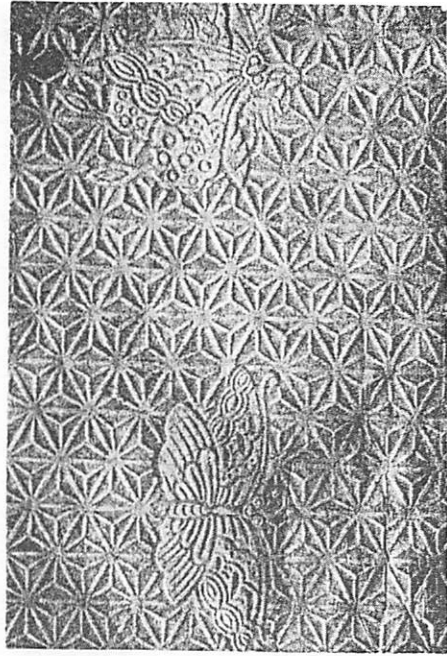
68. 揚羽蝶に竜旦 (押型)



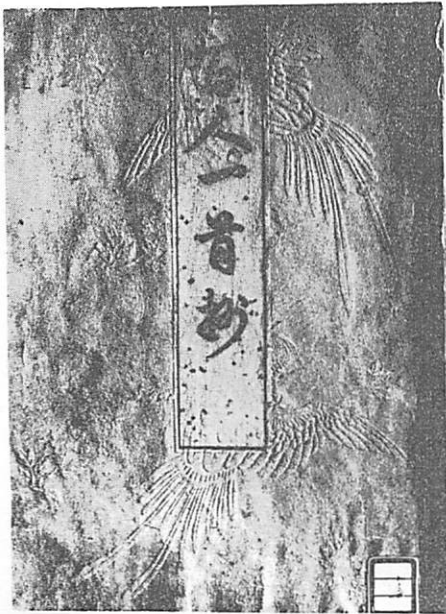
67. 蝶千鳥に霞引 (刷)



70. 蝶鳥模様 (刷)



69. 麻の葉地に揚羽蝶 (押型)



72. 鳳凰に牡丹 (押型)



71. 雲鶴の丸 (押型)



74. 雲竜 (押型)

祐信画鑑 (当館蔵タ5-64-1)



73. 波雲に飛鳥 (鳳凰か) (押型)



76. 雷文繫ぎに丸竜 (刷)

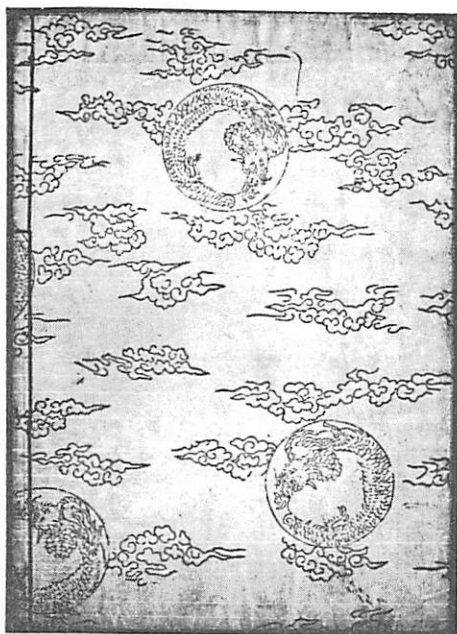


75. 丸竜 (押型)



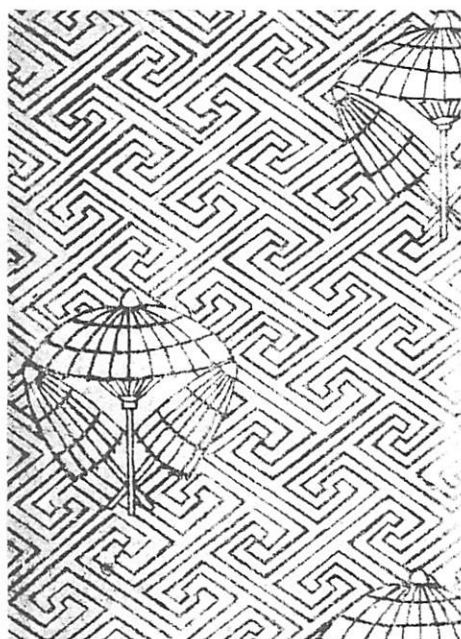
78. 渦雲に竜窠文 (刷)

常徳院詠 (書陵部蔵501—790)



77. 卷雲に丸竜 (刷)

玄旨法師百首 (書陵部蔵501—841)



80. 雷文繫ぎに中開き三本傘 (刷)



79. 波模様捺染布目鳥の子

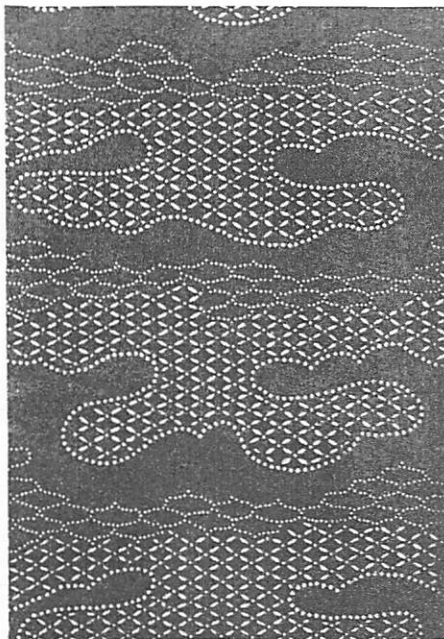
経家卿集 (書陵部蔵501—247)



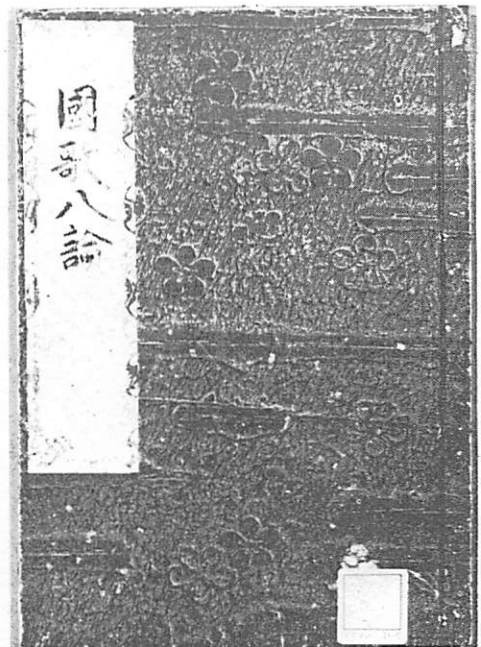
82. 布目地に朽木雲（刷）
源氏物語忍草（当館蔵サ4-2-4）



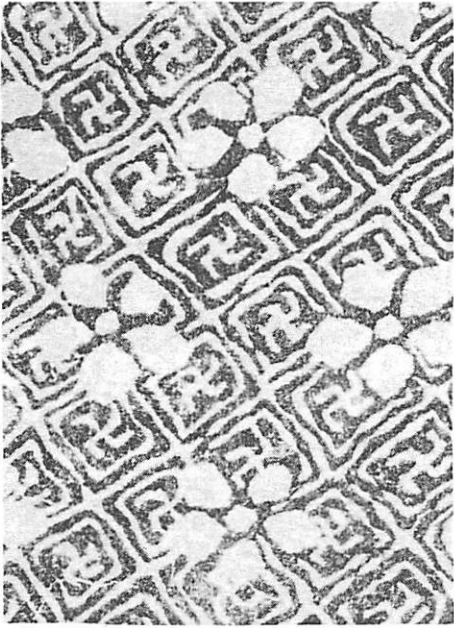
81. 金銀の泥・砂子・箔・野毛で雲霞模様を画く
檜垣廻集（書陵部蔵501-398）



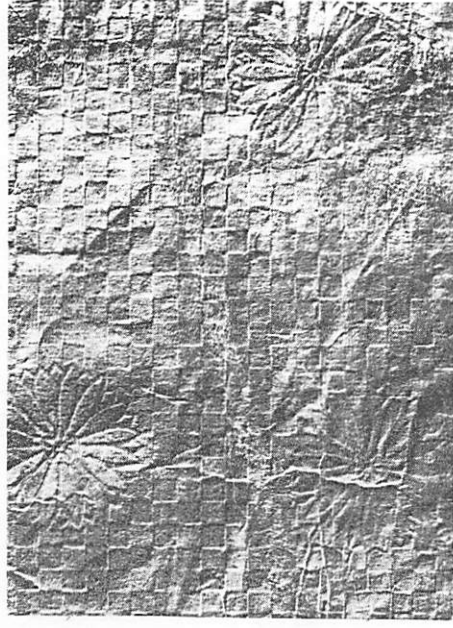
84. 州浜型（紫地白抜、型内の文様未考）
紫式部日記（当館蔵サ5-7）



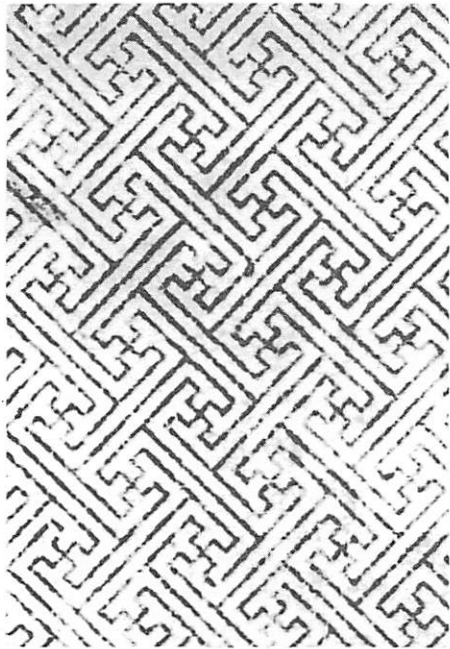
83. 梅花散し霞引（焦茶色の刷）
国歌八論（当館蔵ナ2-186）



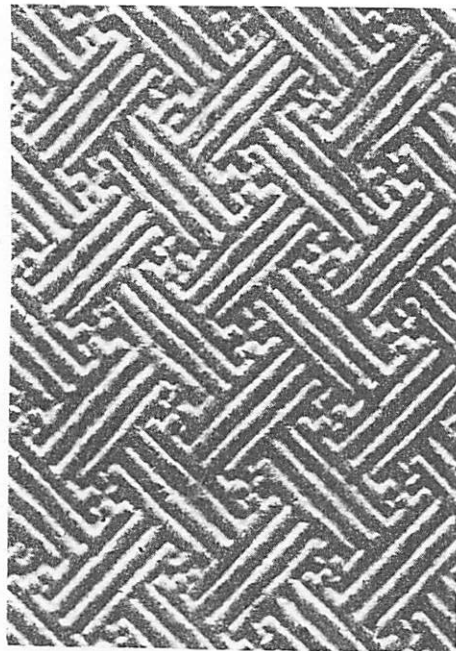
86. 卍錦に梅花文 (藍刷白抜)



85. 霰地に菊花散し (押型)



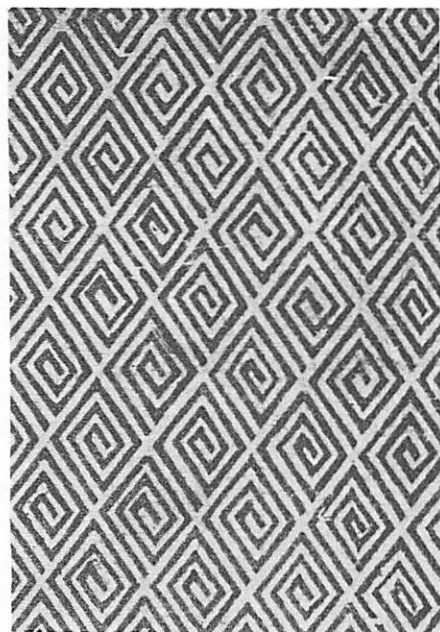
88. 卍繋ぎ (紗綾形) (刷)



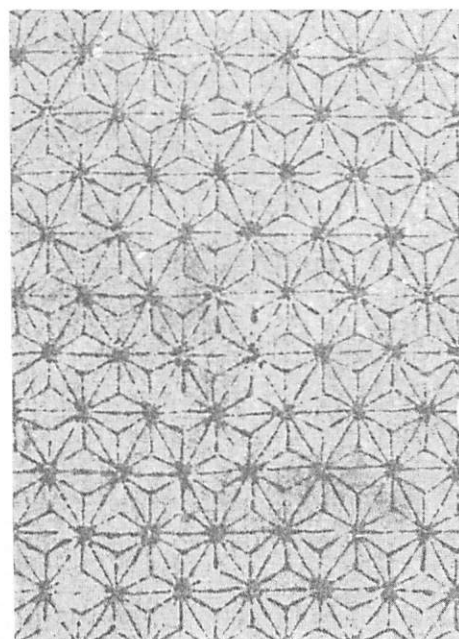
87. 卍繋ぎ (紗綾形) (押型)



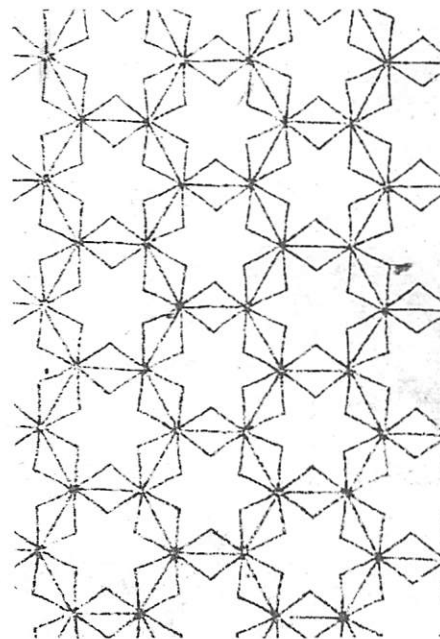
90. 雷文繋ぎ地に菊牡丹の大文 (刷)



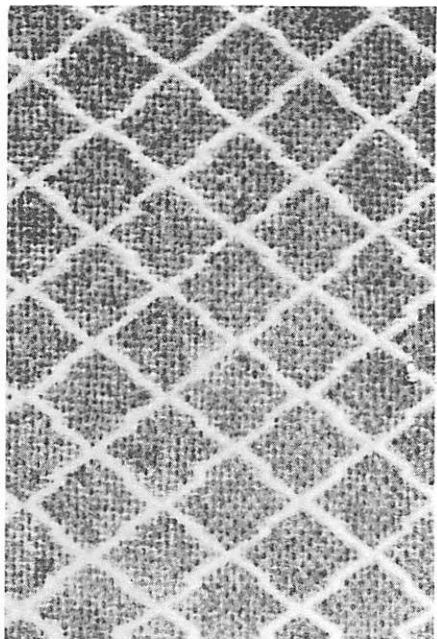
89. 縦菱渦巻文(雷文繋ぎ、稲妻菱繋ぎ)(刷)
時明集 (書陵部蔵501—246)



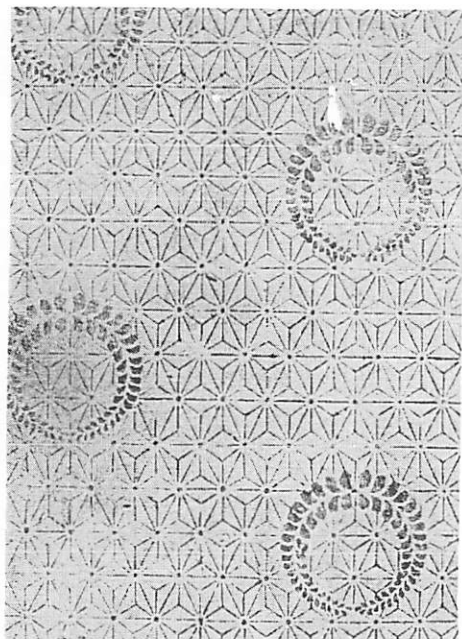
92. 麻の葉 (刷)



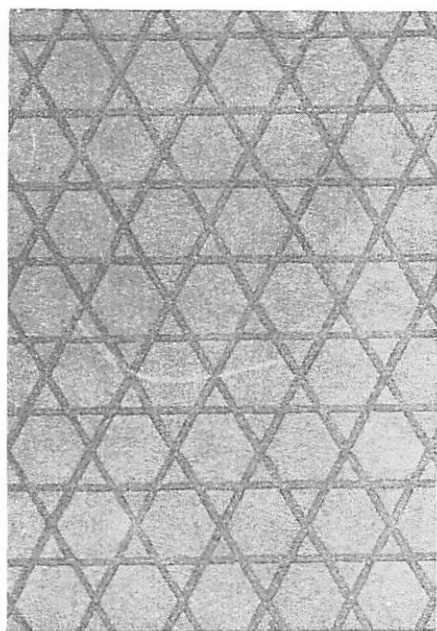
91. 割り三菱繋ぎ (刷)
宗祇集 (書陵部蔵501—694)



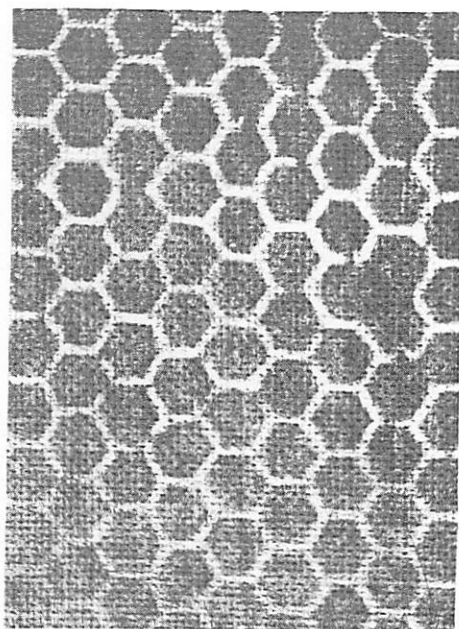
94. 布目地に松皮菱（艶出し）



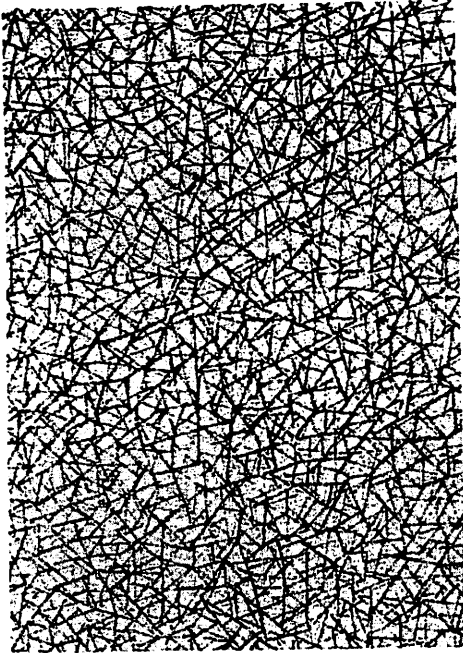
93. 麻の葉に下り藤散し（刷）
紫式部集（書陵部蔵501—730）



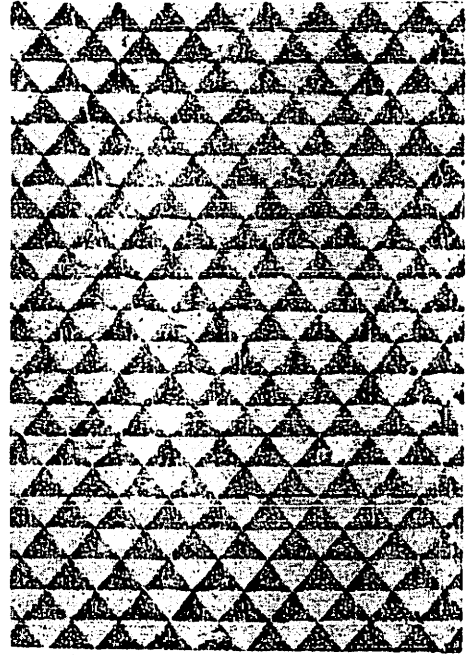
96. 箆目（刷）
栄雅百首（書陵部蔵501—812）



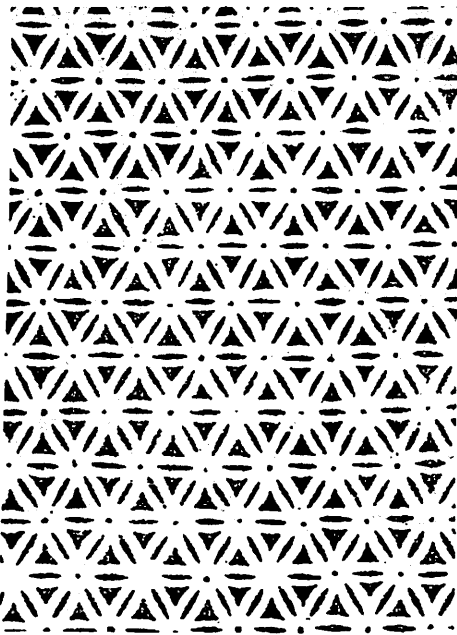
95. 布目地に亀甲繋ぎ（艶出し）



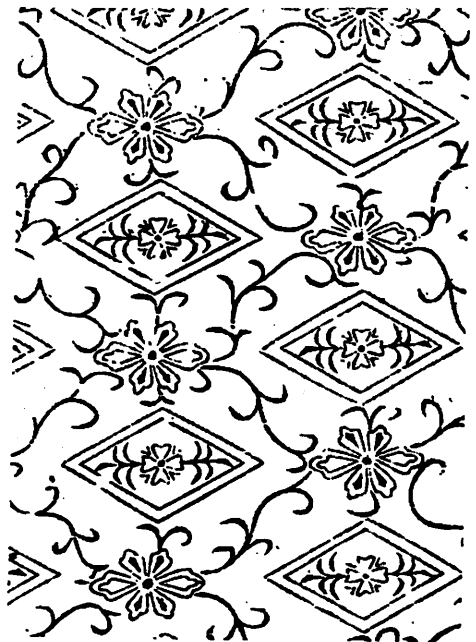
98. 氷割れ類似模様 (刷)
覚怨百首 (書陵部蔵501—844)



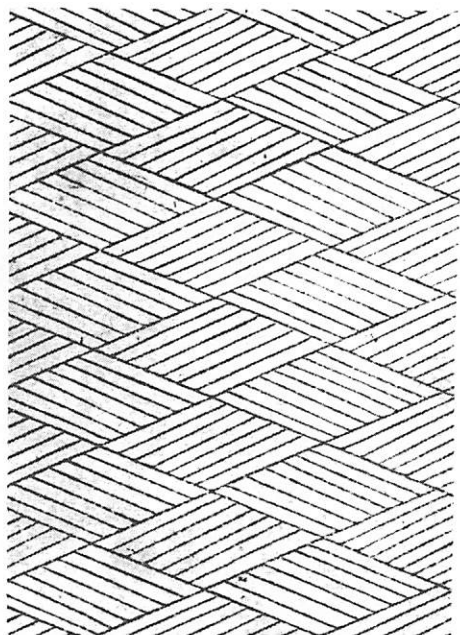
97. 鱗形 (刷)
無名和歌集 (書陵部蔵501—828)



100. 未考
恵慶法師集 (書陵部蔵501—718)

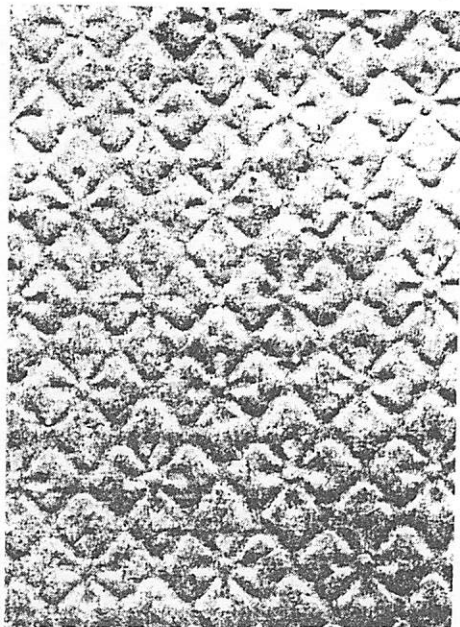


99. 二重菱に唐花唐草 (刷)
道堅法師詠 (書陵部蔵501—839)

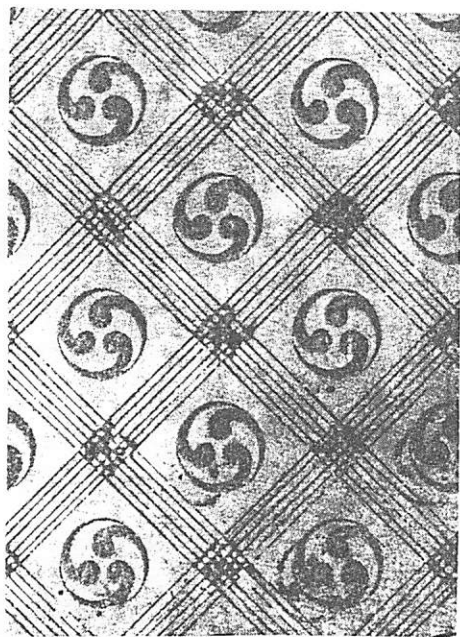


102. 網代 (刷)

雪玉集 (書陵部蔵501—701)

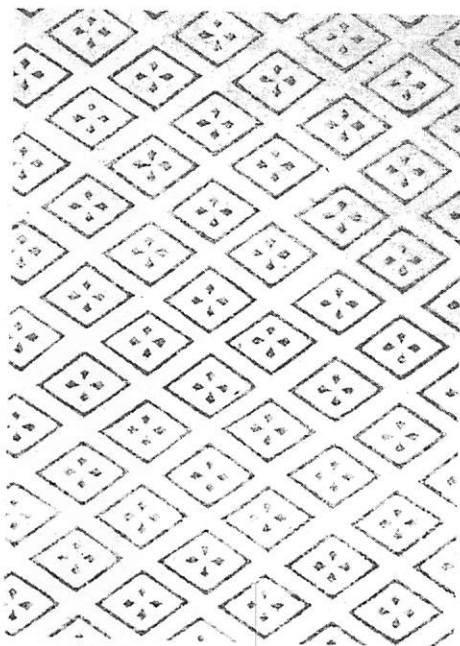


101. 花菱繋ぎ (押型)



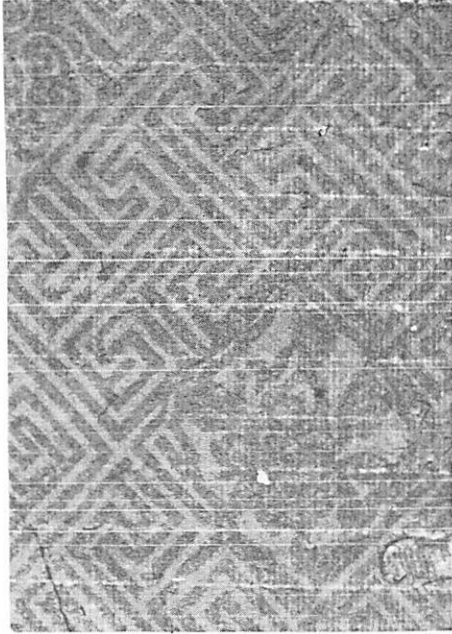
104. 線描菱繋ぎの中に三巴 (刷)

御堂関白集 (書陵部蔵501—741)

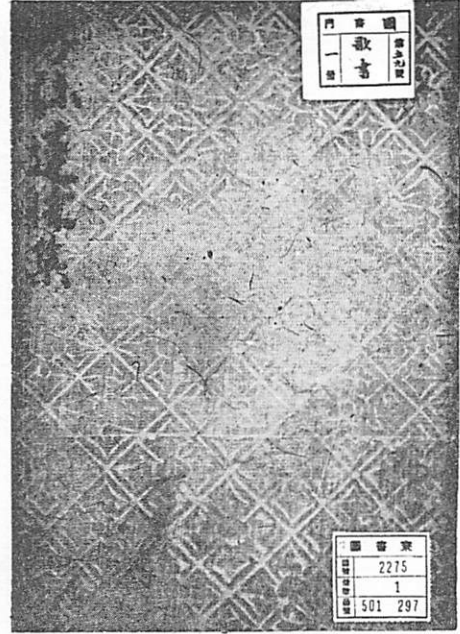


103. 菱繋ぎ (刷)

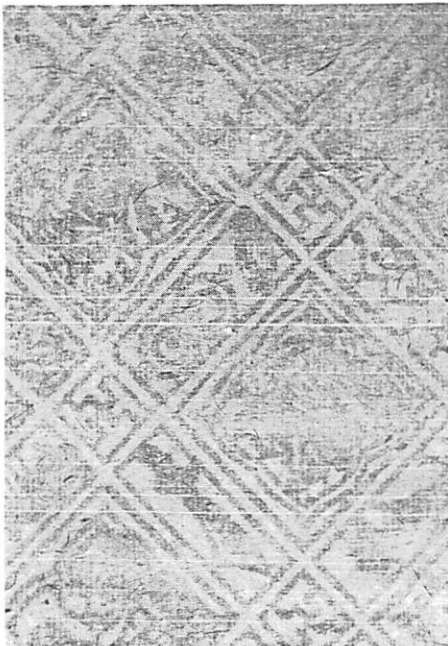
右近少将雅頭集 (書陵部蔵501—294)



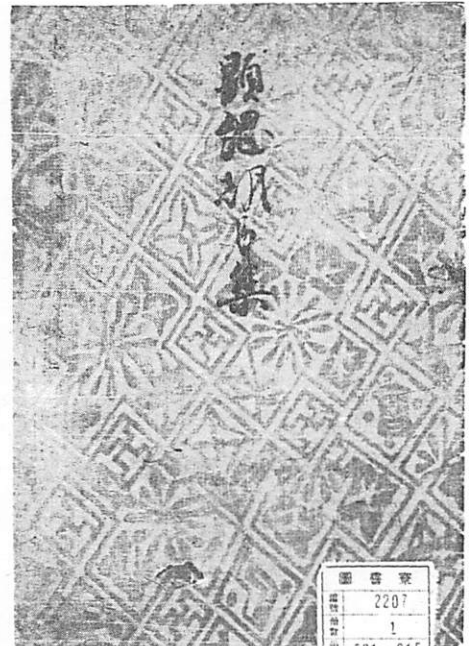
106. 窠文雷文繋ぎ (蠟染)
小大君集 (書陵部蔵501-119)



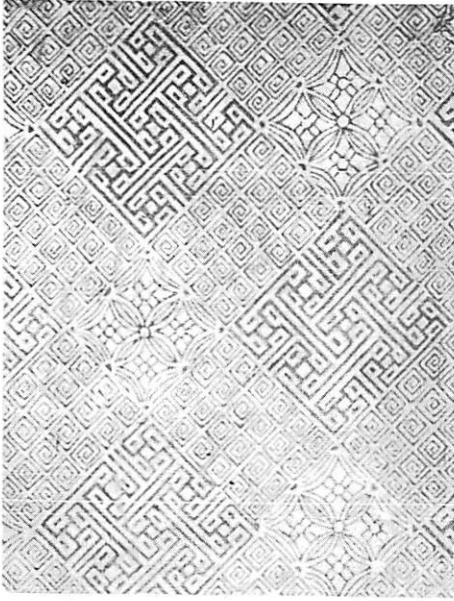
105. 菱(花菱)繋ぎ (蠟染)
沙弥蓮愉集 (書陵部蔵501-297)



108. 二重花禪 (文様未考) 蠟染
興風集 (書陵部蔵501-115)

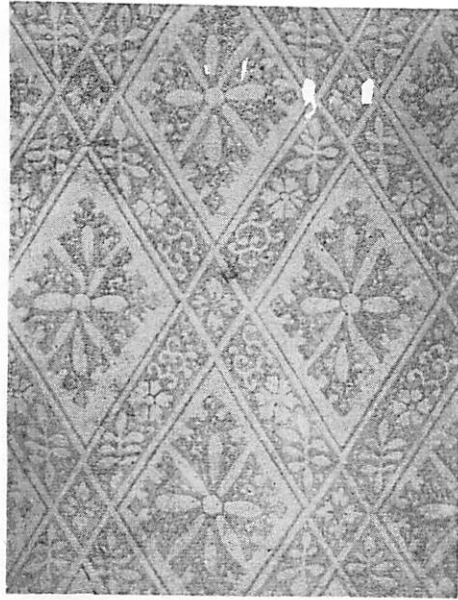


107. 菊枝文を卍・宝尽しの二重菱で繋ぐ (蠟染)
顕綱朝臣集 (書陵部蔵501-215)



110. 未詳【雷文・七宝・未考文様（紗綾形異文
か）の禪】

二条皇太后宮大式集（書陵部蔵501—133）



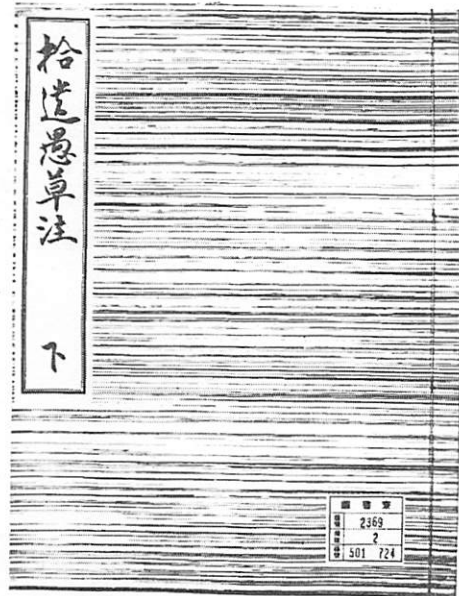
109. 二重花禪に花菱（蠟染）

詠三十首和歌（書陵部蔵501—879）



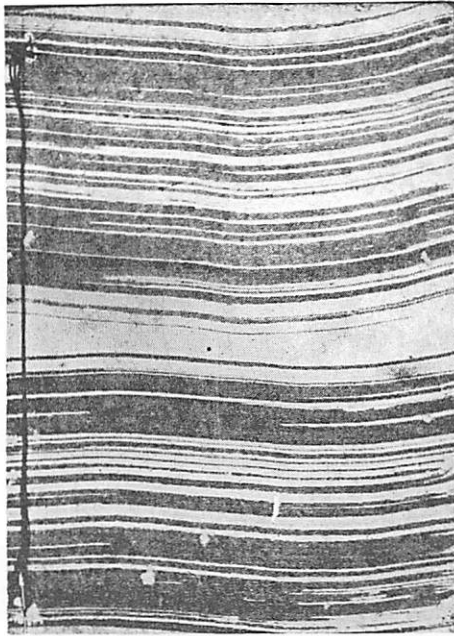
112. 横刷毛目

中殿御會和歌（当館蔵タ2—11）

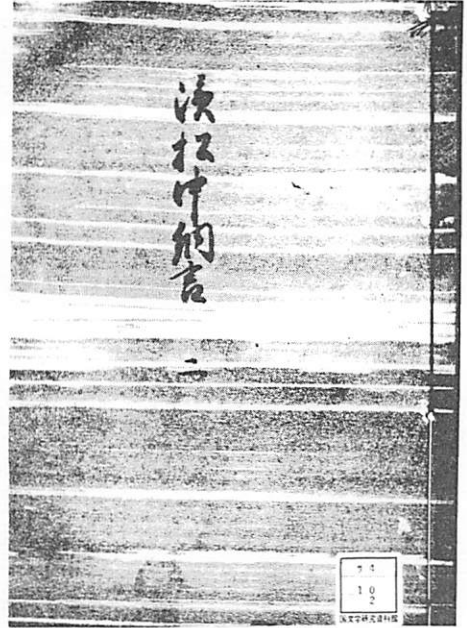


111. 横刷毛目（布目地）

拾遺愚草注（書陵部蔵501—724）



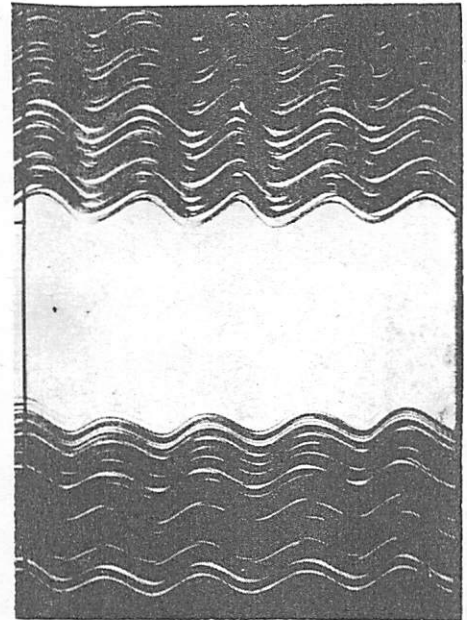
114. 横刷毛目 (丁子引)
中殿御会和歌 (当館蔵タ 2-11)



113. 横刷毛目 (丁子引)
浜松中納言物語 (当館蔵サ 4-10)



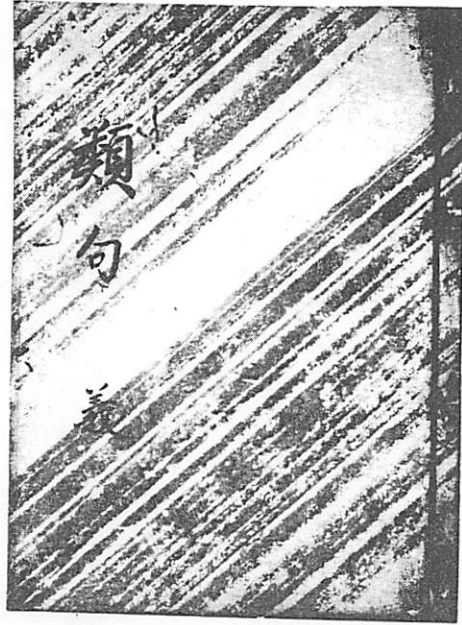
116. 縦刷毛目 (丁子引)
万葉集僻案抄 (当館蔵カ 2-12-1)



115. 波刷毛目



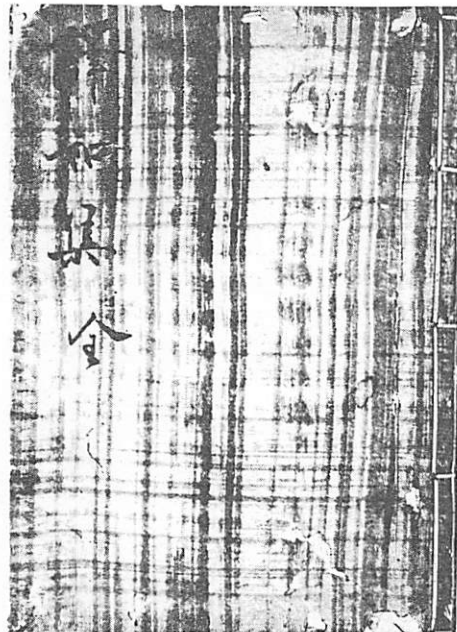
118. 横および斜の刷毛目
後水尾院御集百首他（書陵部蔵鷹一444）



117. 斜刷毛目（渋引）



120. 格子縞
吉田のなくさ（当館蔵ナ2-190）



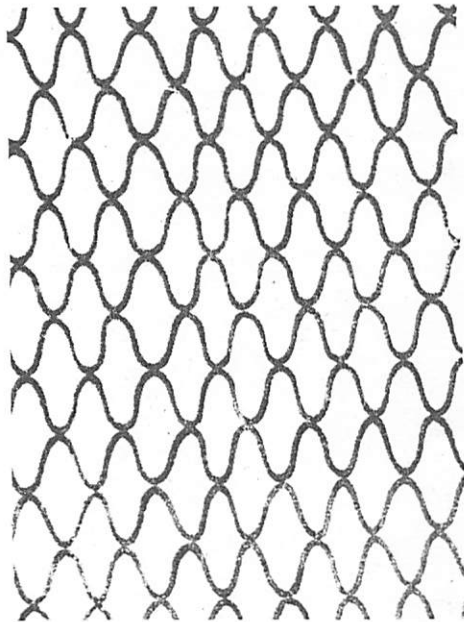
119. 格子刷毛目（渋引）



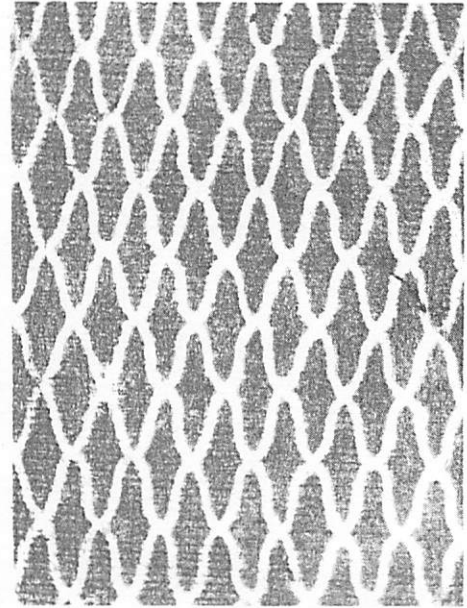
122. 渋刷毛引



121. 布目地に渋刷毛引
百人一首新抄 (当館蔵タ 2-25)



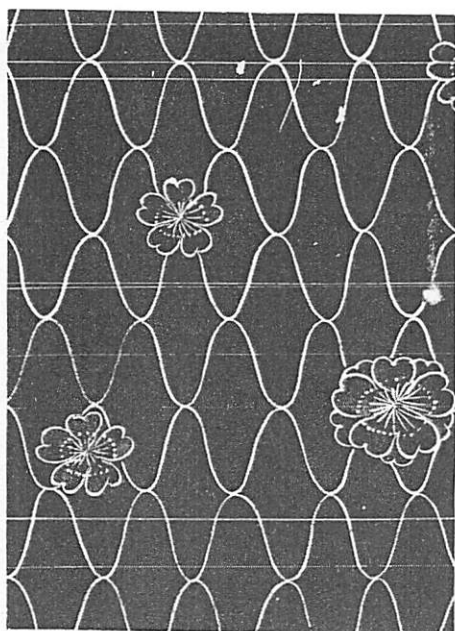
124. 網目 (刷)
草根和歌集 (書陵部蔵501-700)



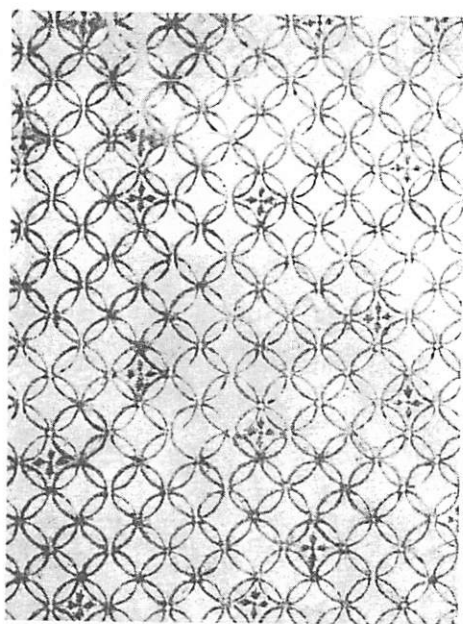
123. 布目地に網目 (艶出し)



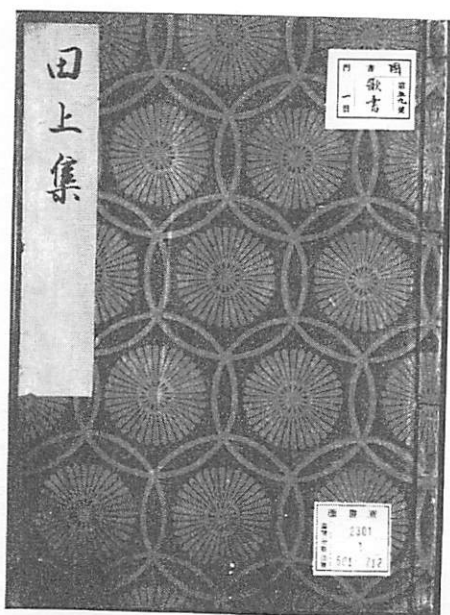
126. 三巴の大文 (藍刷白抜)



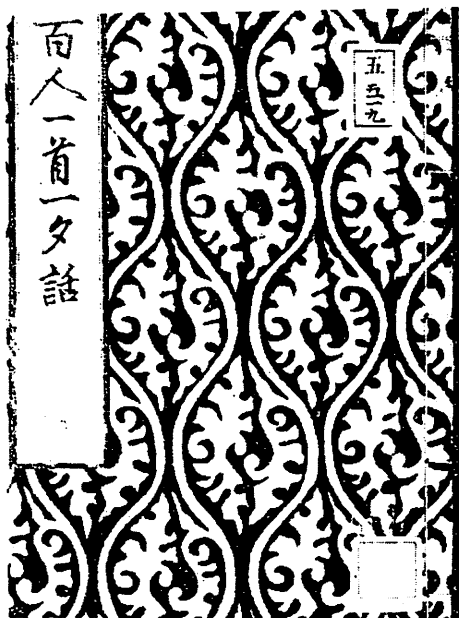
125. 紺地に金泥で網目と桜花を描く
道遥院入道前内府詠(書陵部蔵501-753)



128. 輪繫ぎ(七宝)(刷)
残集(書陵部蔵501-171)



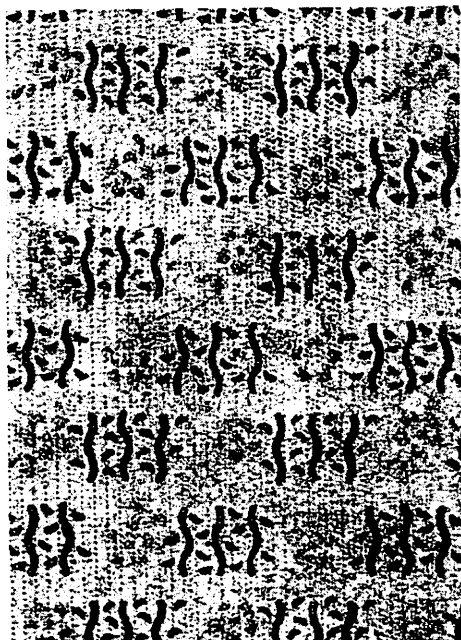
127. 菊花文輪繫ぎ(刷)
田上集(書陵部蔵501-712)



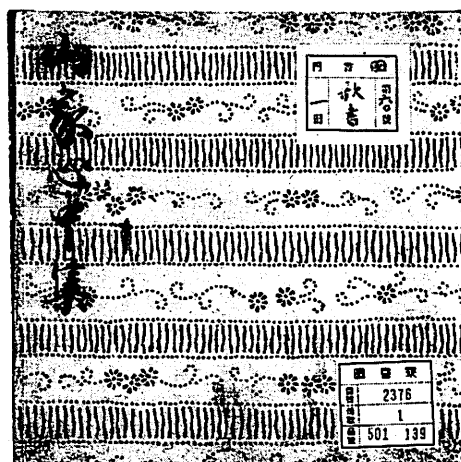
130. 雲立涌大文 (藍刷白抜)
百人一首一夕話 (当館蔵タ2-1)



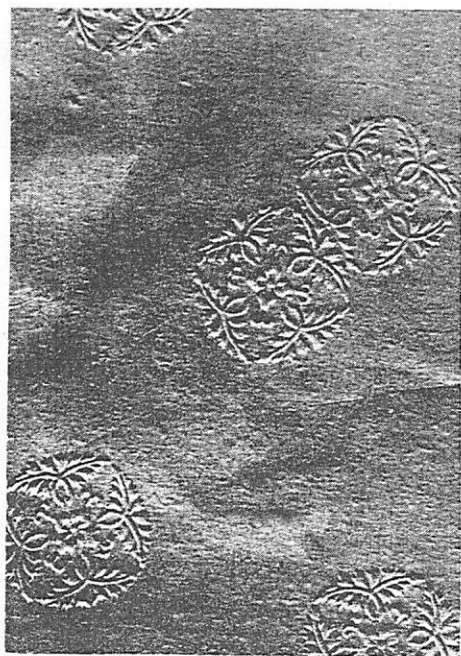
129. 窠文散し輪繋ぎ (七宝) 文様白抜
中院大納言集 (書陵部蔵501-727)



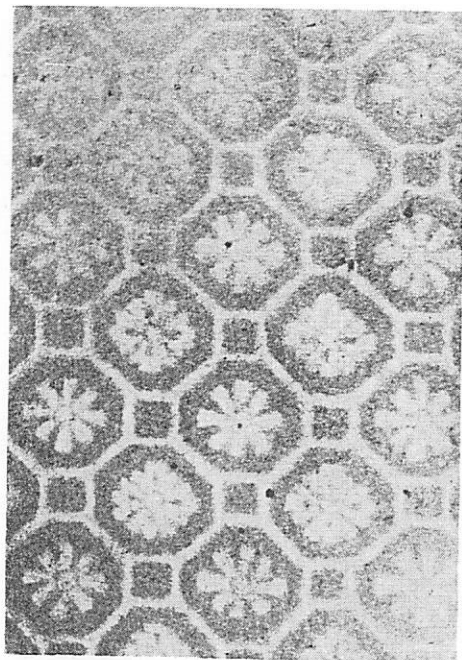
132. 未考



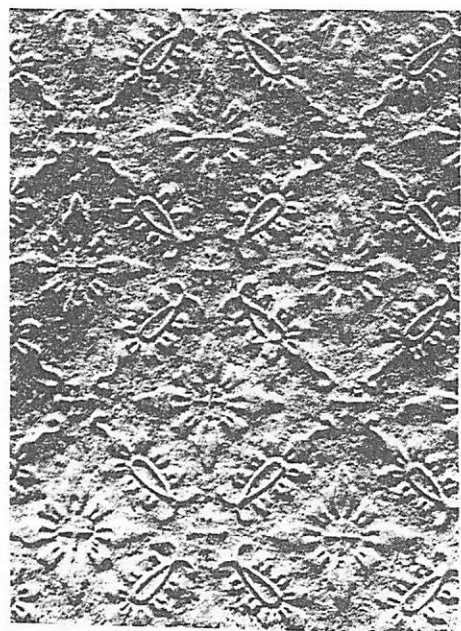
131. 未考
山家心中集 (書陵部蔵501-139)



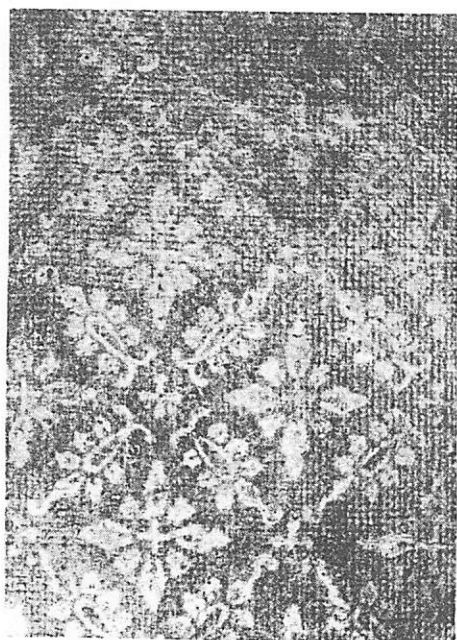
134. 藤丸文散し (押型)



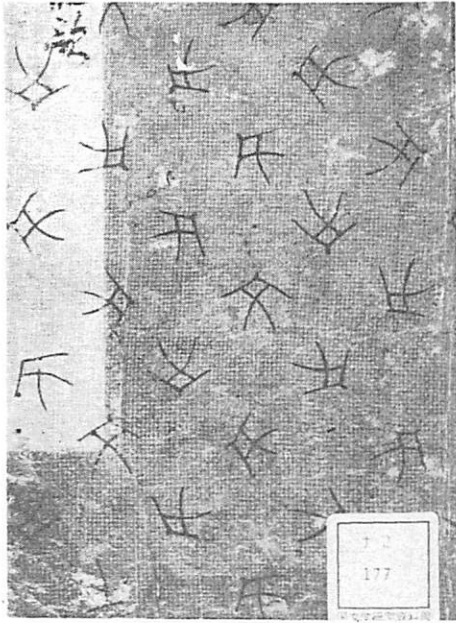
133. 蜀江錦 (艶出し)



136. 小葵襷に花菱 (135. の裏側から)



135. 布目地・小葵襷に花菱 (艶出し)



138. 布目地に文の字散し
狂歌溪の月 (当館蔵ナ 2-177)



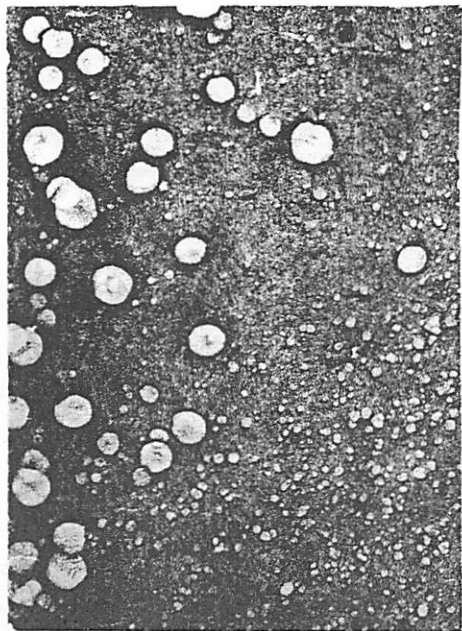
137. 反故紙に渋引
扶桑画譜 (当館蔵ナ 2-246)



140. 墨流し
今川為和集 (書陵部蔵501-703)



139. 墨流し
今川為和集 (書陵部蔵501-703)



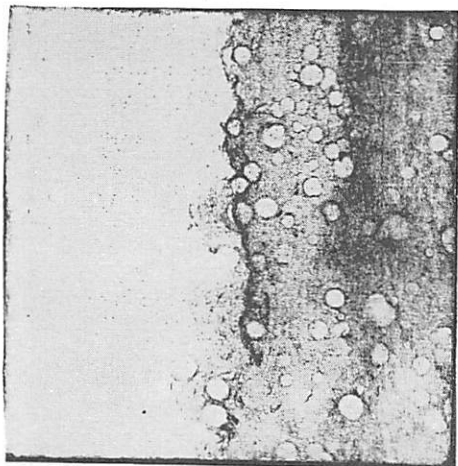
142. 水玉

権僧正道我集（書陵部蔵501—119）



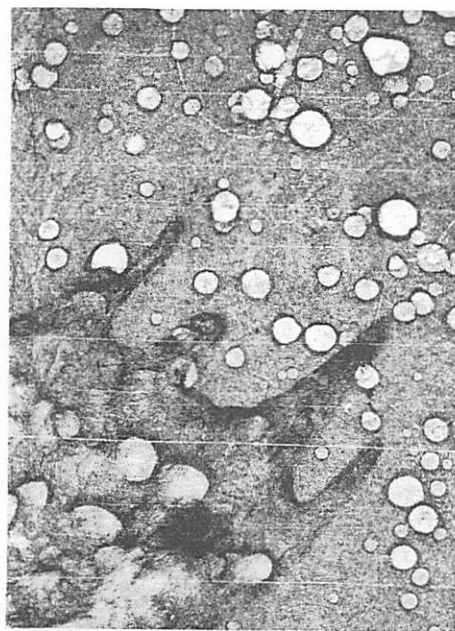
141. 墨流し（墨と藍）

竹取物語（当館蔵サ4—7—2）



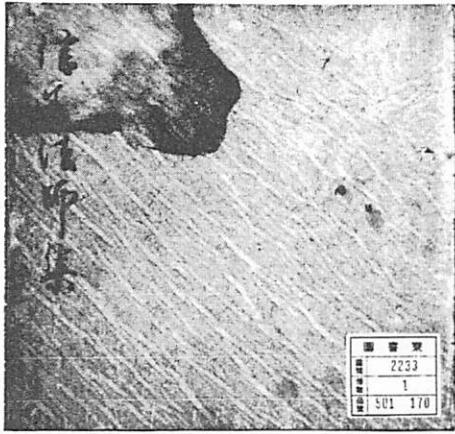
144. 打曇りに水玉

藤原長綱集（書陵部蔵501—155）



143. 打曇りに水玉

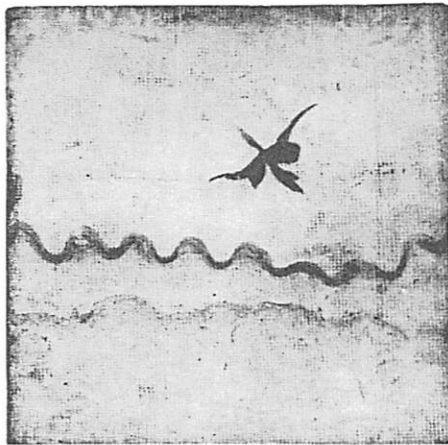
朝光集（書陵部蔵501—198）



146. 藍色雲形に皺皮透模様
信生法師集（書陵部蔵501—170）



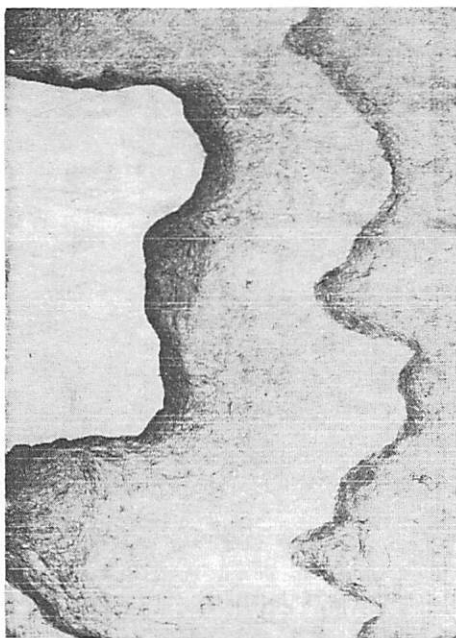
145. 水玉
有房集（書陵部蔵501—309）



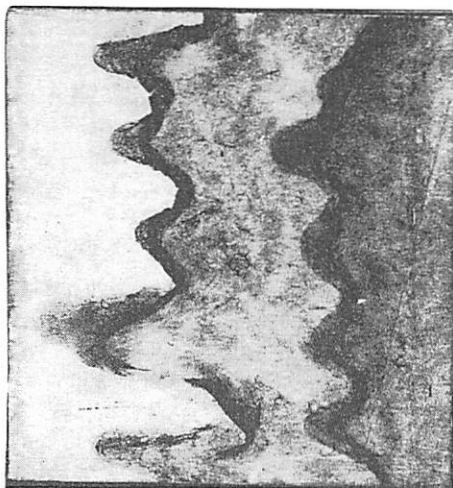
148. 打曇り布目鳥の子紙に花形模様
重之女集（書陵部蔵501—146）



147. 打曇り布目鳥の子紙に花形模様
蓮生法師百首（書陵部蔵501—165）

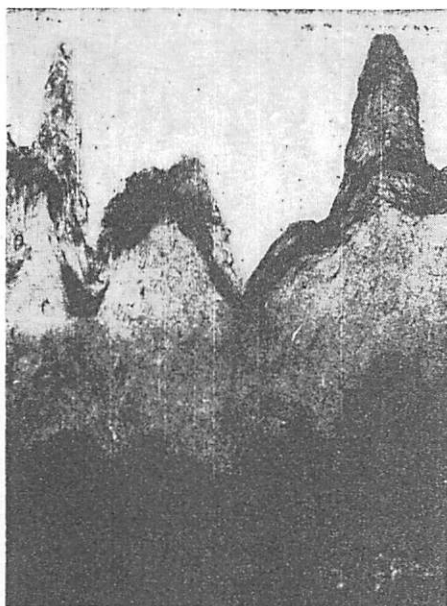


150. 打曇り

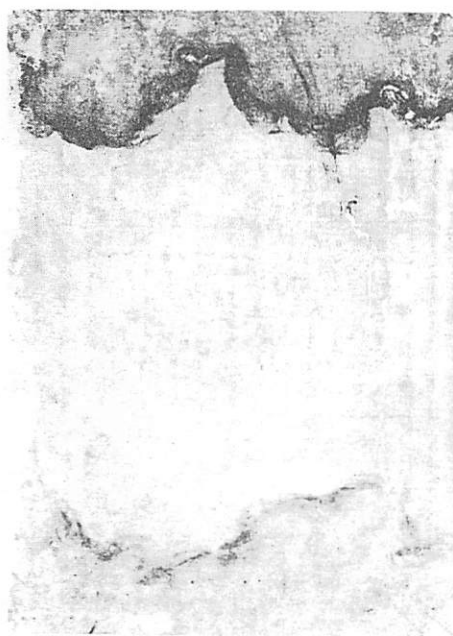


149. 打曇り

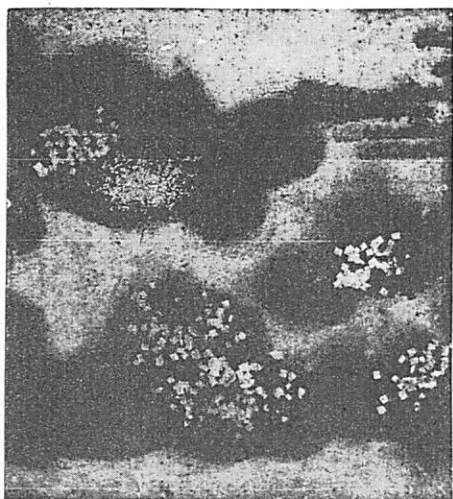
四条宮下野集（書陵部蔵501—154）



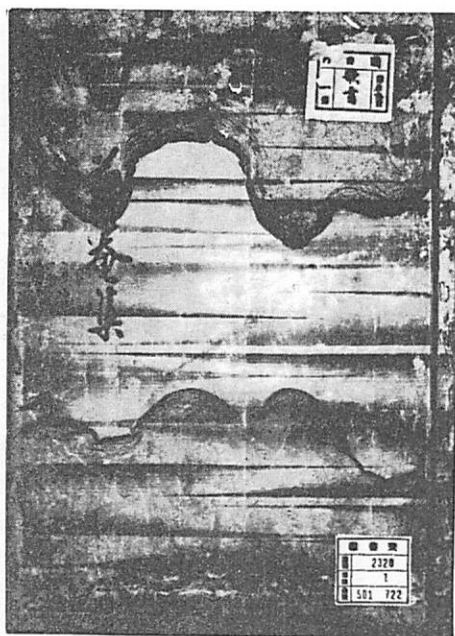
152. 打曇り



151. 打曇り



154. 金銀の砂子・箔をもって画いた雲霞
 恵慶集（書陵部蔵501—401）



153. 打曇りに霞引き
 草庵集（書陵部蔵501—722）



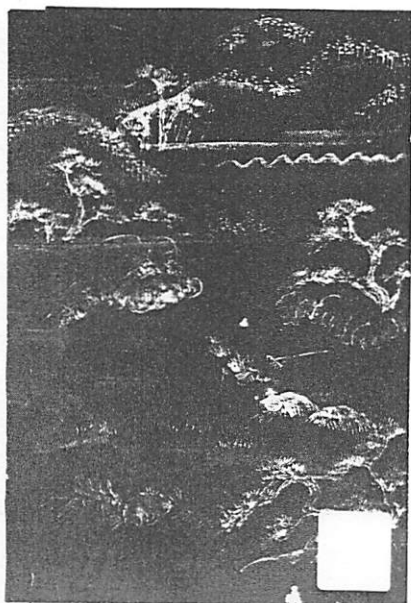
156. 金銀の砂子・箔・野毛を散した雲霞
 時明集（書陵部蔵501—397）



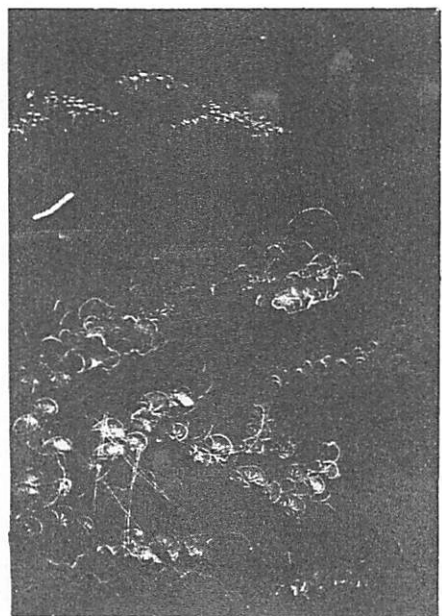
155. 金銀の砂子・箔をもって画いた雲霞
 海人手古良集（書陵部蔵501—392）



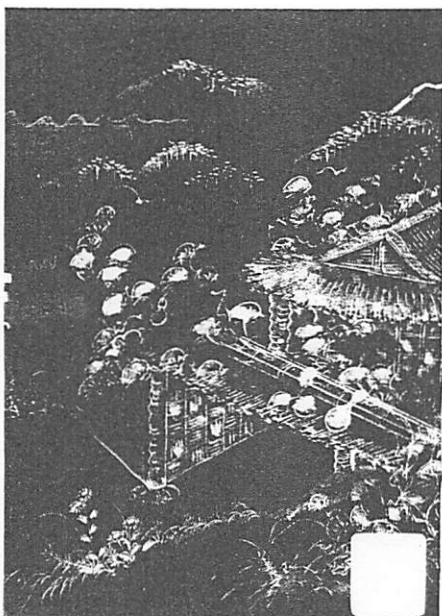
158. 雲霞に遠山と松樹他（紺地金泥描）
新後拾遺和歌集(当館蔵サ2-24-1)



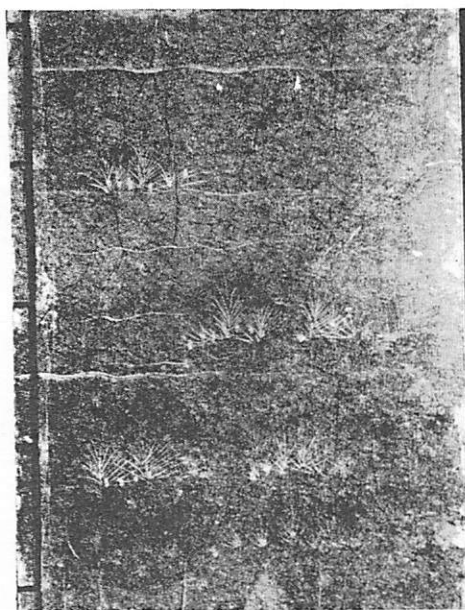
157. 雲霞に遠山と松樹他（紺地金泥描）
新後拾遺和歌集(当館蔵サ2-24-1)



160. 遠山樹木に籬の瓢箪・薄（紺地金泥描）
新後拾遺和歌集(当館蔵サ2-24-2)



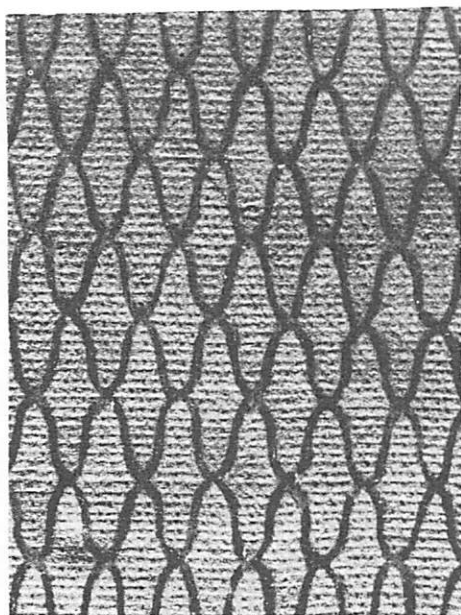
159. 遠山樹木に殿舎・瓢箪・秋草（紺地金泥描）
新後拾遺和歌集(当館蔵サ2-24-2)



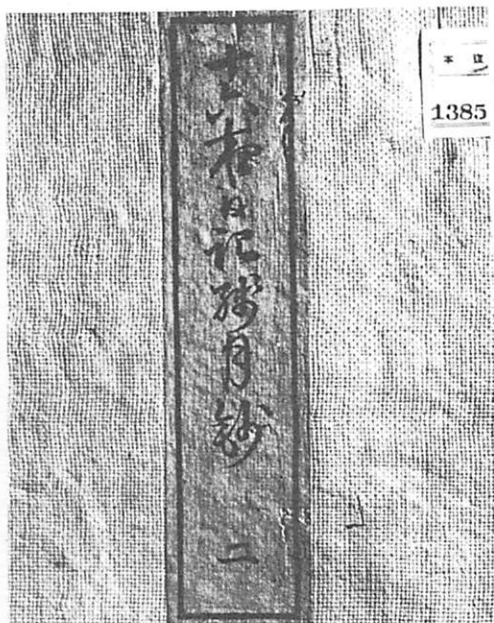
162. 雲霞に草 (浅葱地に金泥描)
源氏物語 (版本・当館蔵サ 4-26-32)



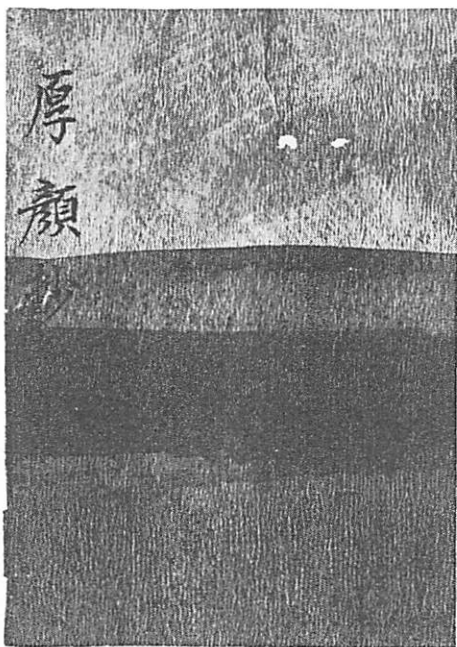
161. 雲霞に草花 (浅葱地に金泥描)
源氏物語 (版本・当館蔵サ 4-26-32)



164. 布目地に網目 (艶出し)
文芸類纂 (当館蔵ア 9-2)



163. 布目
十六夜日記残月鈔 (当館蔵サ 5-1-2)

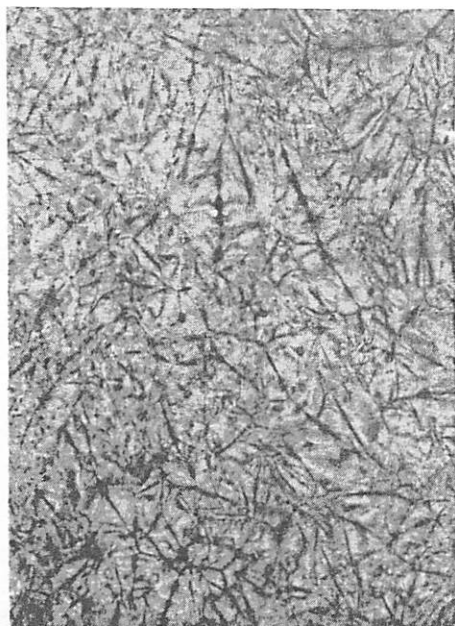


166. 檀紙に渋引

厚顔抄 (部分・当館蔵カ 2-20-2)



165. 布目地に亀甲繫ぎ (艶出し)



168. 揉紙模様 (焦茶色刷)

国歌八論 (当館ナ 2-186)



167. 檀紙に銀砂子散し